

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
21102	無限の可能性開発講座Ⅱ Development of Limitless Potential	根間、横田 山本、伊藤	基礎	1	必修	1年 後期
科目の概要						
「無限の可能性開発講座Ⅰ」を基礎としたオムニバス形式の授業である。特定の職業を超えてあらゆる仕事で必要となるジェネリックスキルの修得を目的とする。授業ではグループワークによる能動的学修法を取り入れ、「知識活用力」や「課題解決力」などの 考える力 と、「コミュニケーション能力」や「自主性・自律性」などの 生きる力 の習得を目指して、食育を実践するための媒体として紙芝居を作成する。対象集団の分析や情報収集を行い表現の技法を習得し、客観的な証拠に基づいてグループ単位でプレゼンテーションを行い、科学的に物ごとを判断できる力を養う。						
学修内容			到達目標			
① プレゼンテーションの目的や多様性および 5W1H による実践法をグループ活動により学修する。			① 目的、効果、方法、表現方法等を理解して相手にわかりやすい発表を実践できる。			
② 食育の媒体として紙芝居、イラスト、シナリオ及びストーリーの組み立て方、作成法をグループ活動により学修する			② 食育に不可欠な媒体の一つである紙芝居の創作に必要なミニマムスタンダード(イラスト、シナリオ、ストーリー)を組み立てることができる。			
③ 対象集団に存在する食生活の課題を解決するために「序論、本論、結論」を導き出す方法を学修する。			③ 対象集団の食生活改善に向けた指導計画を、長期的・中期的・短期的に系統立てて作成できる。			
④ 科学的な根拠に基づき論理的な話題の進め方について、グループ活動をとおして学修する。			④ 政府刊行物や各種学会発行の資料等を収集し、エビデンスを確立し、話題を展開することができる。			
⑤ ビジュアル効果、図表とグラフを駆使したわかりやすいプレゼンテーションの技法を学修する。			⑤ 豊富な資料を基にコンピテンシーを抽出して発表に活かし、質疑応答に臨むことができるようになる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	食育媒体を創作するという目標に向かって指示がなくても、実施要領に沿って参考文献を使って自学自習をすることができる。				
	働きかけ力					
考え抜く力	実行力	期限までに紙芝居、シナリオ(ストーリー)を完成するための手順や方法を考えて、確実に目標に向かって進め、「やり抜く力」を発揮することができる。				
	課題発見力	ただ単に作品を仕上げるのではなく、対象集団の分析によって得られた情報を客観的に整理し、科学的根拠に基づいて課題を見極めることができる。				
	計画力	コンピテンシーを抽出し、アクションプランに沿って作品を完成できる。また、進捗状況によって計画の見直しや修正ができる。				
チームで働く力	創造力	対象集団へアプローチする際、固定観念に捉われることなく、多角的に考えることができる。				
	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手にわかりやすいように工夫して発表ができる。声の大きさ、話すスピード、専門用語の平易な解説がポイントとなる。				
	傾聴力	グループワークで、メンバーの意見を「あいづち」や「うなづき」で確認し、自分の意見を述べる事ができる。自己主張を押し切るのではなく、建設的な議論をすることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	自制心を以って無断欠席、遅刻、私語など講義に支障をきたす行動をせず、実施要領やルールを守り授業を円滑に進行するための行動ができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力を育む学泉ノート「無限の可能性への道」 本学編 ・授業の進捗に応じてプリント類、紙芝居作成条件およびプレゼンテーションの実施要領を配布する。 						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:無限の可能性開発講座Ⅰ、キャリアデザイン講座、栄養士学外実習 資格との関連:特記なし						
学修上の助言			受講生とのルール			
「生きる力」とは何か、自問自答しながら授業に臨むこと。また、自分に無限の可能性があることを信じ、失敗を恐れず取り組むこと。また、文章力をつけておいてください。			遅刻や欠席、早退はグループメンバーに迷惑がかかることので、厳に慎むこと。また、外部講師との「気づきの会」では課題レポートを期限内に提出すること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	20	① ② ③ ④ ⑤	課題①「短大生活で私が成長した社会人基礎力」800字程度(10点) 課題②「栄養士学外実習で活かしたい社会人基礎力」800字程度(10点) ・「生きる力」と社会人基礎力の関連について理解しているか、また、今後の学修にどのように活かしていくのか、自分なりの考えが具体的に記述されているか、評価する。
成果発表 (口頭・実技)	20	① ② ③ ④ ④	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ④ ✓ ・食育川柳および食育紙芝居の成果発表を行う。内容の充実度や完成度、チームワークの発揮、伸ばすことができた自己の社会人基礎力についてのコメントを参考に「評価・審査表」により評価する。(20点) ・内容が集団に合致し科学的根拠に基づいているか、表現の仕方や発表の明瞭さ及び発表形態、発表時間、質疑応答の状況を重点的に評価する。
作品	10	① ② ③	① ✓ ② ✓ ③ ・実施要領を遵守した規定作品であるかを評価する。 (特に高い:10点、完成度が高く表現に工夫が見られる:7点、完成はしているが表現方法に工夫と努力が必要である:3点)
社会人基礎力 (学修態度)	50	① ② ③ ④ ⑤	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓ (主体性)グループのテーマ及び役割分担に基づいて、目標に向かって指示がなくても、文献等を参考に自学自習ができる。(10点) (実行力)紙芝居を完成するための手順や方法を考えて、目標に向かって活動できる。(5点) (課題発見力)対象集団の分析によって得られた情報を客観的に整理し、科学的根拠に基づいてまとめることができ。(5点) (計画力)クラス単位の行動計画及びグループのアクションプランに沿って行動し、作品の完成に向けて臨機応変に計画の見直しや修正ができる。(5点) (創造力)収集した資料をかみ砕いて固定観念に捉われないこと、多角的に考え、シナリオ化、イラスト化することができる。(5点) (発信力)5W1Hの手法により、相手に伝えたいことを的確に発信するため、声の大きさ、話すスピードなど工夫して発表できる。(5点) (傾聴力)毎回の授業の締めくくりとして行う業務報告においては、他のグループの発言をしっかりと聞き、またメンバーの意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。(5点) (規律性)自制心を以って無断欠席、遅刻、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業を円滑に進行するための行動ができる。(10点)
その他		① ② ③	① ② ③ ・「気づきの会」の無断欠席者は10点減点する。 ・グループ活動への非協力的態度が見られる場合は5点の減点となる。
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ★目的に見合った表現方法を習得して、しっかりポイントをおさえ、対象者にわかりやすい発表を实践できる。 ★紙芝居の創作に必要なイラスト、シナリオ、ストーリーを論理的に理解し、充実した作品を制作することができる。 ★指導計画を長期的・中期的・短期的に系統立てて具体化して作成できる。 ★政府刊行物や各種学会発行の資料等をしっかり収集し分析して話題を展開することができる。 ★コンピテンシーを抽出して発表に活かし、的確な質疑応答をとおして、自己効力感を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★目的に見合った表現方法を理解して相手にわかりやすい発表を实践できる。 ★紙芝居の創作に必要なイラスト、シナリオ、ストーリーを理解し、作品を制作することができる。 ★対象集団の食生活改善に向けた指導計画を系統立てて作成できる。 ★政府刊行物や各種学会発行の資料等を収集し話題の展開ができる。 ★コンピテンシーを抽出して発表に活かし、質疑応答に臨むことができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ガイダンス 授業の概要や進め方、グループ編成と役割分担を行う。 前期講座(I)の振り返り	講義・質疑応答 (根間・伊藤)	授業目的、方法を理解し、この授業によって得られるスキルが理解できる。	(復習)前期講座(I)の要点を復習する。 (予習)プレゼンテーションの方法や目的を調べておく。	90	主体性
2週 /	プレゼンテーションについて① 定義、形式、場面、方法、情報の種類と活用法について学ぶ。	講義・質疑応答 (根間) ワークシート	プレゼンテーションの定義、形式、場面、方法、情報の種類と活用法について概ね理解し活用できる。	(復習)プレゼンテーションの定義、形式、場面、方法などを復習する。 (予習)聞き手の分析と情報の収集について調べる。	90	主体性
3週 /	プレゼンテーションについて② テーマとコンセプト、聞き手の分析、制約条件、情報の収集 など企画と構成について学ぶ。	講義・質疑応答 (山本) ワークシート	テーマの設定、聞き手の分析、制約条件、情報の収集について概要を理解し活用できる。	(復習)聞き手の分析、制約条件、情報の収集について復習する。 (予習)表現の原則と多様性について調べておく。	90	実行力
4週 /	プレゼンテーションについて③ 表現の原則、アイコンタクト、表現方法の多様性を学ぶ。	講義・演習 (横田) ワークシート	表現の原則を理解し、アイコンタクトや多様な表現方法をプレゼンテーションで活用できる。	(復習)わかりやすい表現方法のポイントを復習する。 (予習)自己紹介を例に理解を促す表現法を演習する。	90	実行力
5週 /	プレゼンテーションについて④ 演出法として配布資料の使い方、ビジュアル効果、図表とグラフの活用について学ぶ。	講義・質疑応答 (横田) ワークシート	配布資料の必要性和図表とグラフの活用について理解し、発表で活かすことができる。	(復習)ビジュアル効果、図表やグラフの活用について復習する。 (予習)気づきの会に向けて、短大生活のビジョンや目標をまとめる。	90	実行力 創造力
6週 /	「気づきの会」 キャリアカウンセラーとグループで面談に応じ、自己の行動特性や弱点に気づく。	グループ面談 外部講師3名 (全教員) アンケート実施	講師との質疑応答ができ、自己の考えや意見を簡潔に主張できる。面談後は仲間の発言も参考にして自己評価ができる。	(復習)面談者からのアドバイスや指導内容、感想をまとめる。 (予習)自己実現に向けた抱負を800字程度にまとめる。	90	傾聴力 課題発見力
7週 /	規定演習・グループワーク① テーマ(課題)に沿ってグループ活動を行い、紙芝居と食育川柳創作に向けた活動計画及び到達目標を作成する。	グループワーク (根間) 活動日誌提出 各班の活動報告	テーマに基づいてグループ活動計画の作成に参画し、自己の意見や考えを発言できる。	(復習)活動計画と到達目標をシミュレーションする。 (予習)5W1Hの効果と活用場を予習する。	90	傾聴力 課題発見力
8週 /	規定演習・グループワーク② 与えられた課題から①過去はどうであったか、②これからどうなるのか(予測)、③なぜそうなったのか(解析)についてまとめる。	グループワーク (根間) 活動日誌提出 各班の活動報告	課題から①過去はどうであったらうか、②これからどうなるのだろうか(予測)、③なぜそうなったのか(解析)の議論の中で、意見を述べることができる。	(復習)分析、予測、解析の方法や意義について復習する。 (予習)課題解決のプロセスを想定し、やる気を起こさせるプランを考える。	90	傾聴力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	規定演習・グループワーク③ 対象集団に課題が発生するまでの経緯を追及し、解決するにはどうすれば良いのか、グループで話し合う。	グループワーク (根間) 活動日誌提出 各班の活動報告	発見した課題に対して、そこに至るまでの経緯を追及し、解決するにはどうすれば良いのか、グループ討議に参加できる。	(復習)課題解決に向けて、どのように取り組めばよいのか、復習する。 (予習)行動変容に繋げるためのポイントを調べる。	90	傾聴力 発信力 創造力
10週 /	規定演習・グループワーク④ 解決策を如何にして相手に分かり易く伝え、理解させ行動変容に繋げるか、その方法やポイントについて話し合う。	グループワーク (根間) 活動日誌提出 各班の活動報告	解決策を如何にして相手に分かり易く伝え、行動変容に繋げるか、その方法やポイントを理解し実行できる。	(復習)相手に分かり易く伝え、行動変容に繋げる方法やポイントを復習する。 (予習)目標設定はどうあるべきかについて調べておく。	90	傾聴力 発信力 創造力
11週 /	規定演習・グループワーク⑤ 解決に向けた目標を大・中・小に分類し、対象者に見合ったアプローチの計画を作成する。	グループワーク (根間) 活動日誌提出 各班の活動報告	目標を設定し、対象者に見合ったアプローチの計画を主体的に作成できる。	(復習)大・中・小の目標を設定するための諸条件や方法について復習する。 (予習)食育川柳のオリジナル案を2つ以上考える。	90	傾聴力 発信力 計画力
12週 /	規定演習・グループワーク⑥ 食育の実践に向け効果的表現法やビジュアル効果、図表とグラフなどを工夫した演出を考える。また、食育川柳を発表する。	グループワーク (根間) 活動日誌提出 食育川柳発表会 各班の活動報告	食育を展開するための効果的表現法やビジュアル効果、図表とグラフなどを工夫して演出できる。また、食育川柳が発表できる。	(復習)表現法やビジュアル効果、図表などを再点検する。 (予習)紙芝居のシナリオやイラストおよび役割分担に基づいて演習する。	90	発信力 規律性
13週 /	プレゼンテーション① 作成した進行表やシナリオに沿ってリハーサルを行い、結果を顧みて本番に備える。予行演習をとおして緊張を克服する。	予行演習 (根間:全教員) 活動日誌提出 各班の活動報告	進行表を準備してグループでリハーサルを行い、結果を振り返り、課題を見つけて本番に備えることができる。	(復習)リハーサルの結果を振り返り、自己の課題を修正する。 (予習)発表時間など実施要領に沿って予行演習する。	90	発信力 規律性
14週 /	プレゼンテーション② 制作した紙芝居を媒体として、プレゼンテーションを行い相互評価する。これまでの学習成果を活かし、作成基準や発表要領に基づき実践する。	発表会 (根間:全教員) 活動日誌提出 作品の提出 各班の活動報告	紙芝居を媒体として、これまでの学習成果を活かし、プレゼンテーションを行うことができる。また、グループ内での役割を果たすことができる。	(復習)これまでの学習成果について相互評価をとおして復習する。 (予習)この授業をとおして成長した社会人基礎力をまとめる。	90	発信力 規律性
15週 /	取り組みの総括 これまでの授業を振り返り、グループ活動や自己の取り組みが、到達目標と比較してどうであったか、総括して行動特性の向上に繋げる。	演習(根間:伊藤) レポート提出 活動日誌提出 各班の活動報告	これまでの授業を振り返り、学習到達目標と比較して総括し、レポートにまとめることができる。	(復習)グループや自己の活動状況を振り返り、到達目標と比較しながらレポートにまとめる。	90	課題発見力 主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力